

こどもの性被害を防ぎ、
みなさんが安心して学校や習い事に
通えるようにするためには？
いけんのまとめ（アンケート回）

開催日：2025年7月1日（火）～2025年7月21日（月・祝）

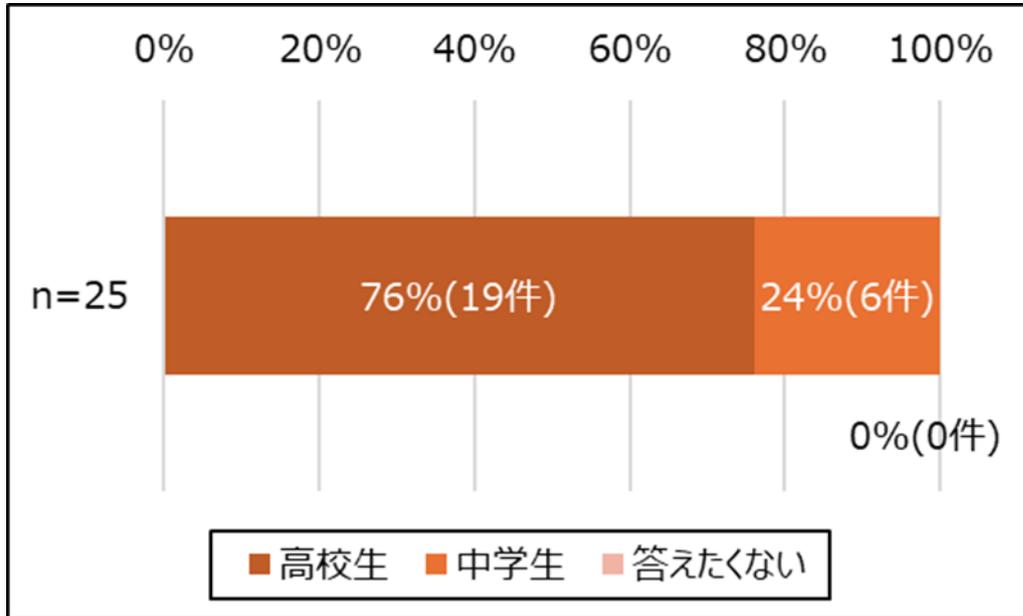
調査概要

- ① 調査テーマ
 - ・ こどもの性被害を防ぎ、みなさんが安心して学校や習い事に通えるようにするためには？
- ② 調査対象
 - ・ 中学生から高校生年代のぷらすメンバー
- ③ 回収状況
 - ・ 回答数：25件
- ④ 調査方法
 - ・ WEB アンケート調査
- ⑤ 調査期間
 - ・ 2025年7月1日（火）～2025年7月21日（月・祝）

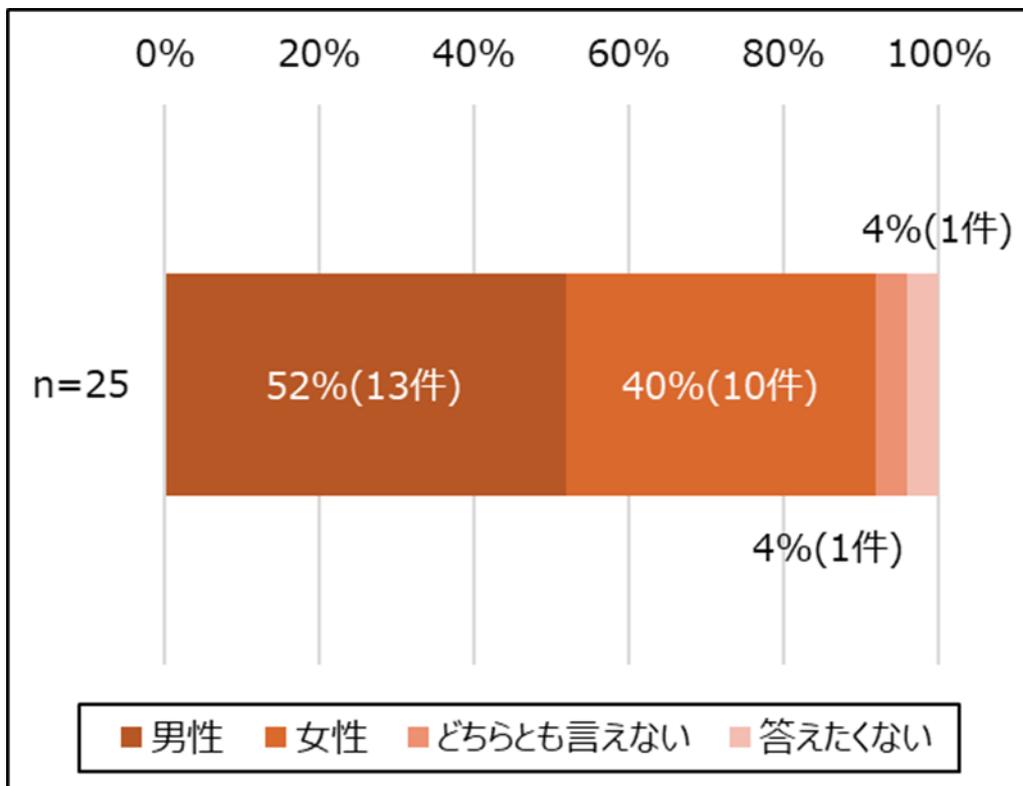
本資料は、いけんひろば参加者個人のご意見を記載したものです。本資料の記載内容は、政府としての見解や評価ではありません。なお、参加者個人の特定や、特定の個人や団体等への直接的な批判につながる恐れがある発言については、発言の趣旨を改変しない形で修正しています

調査結果

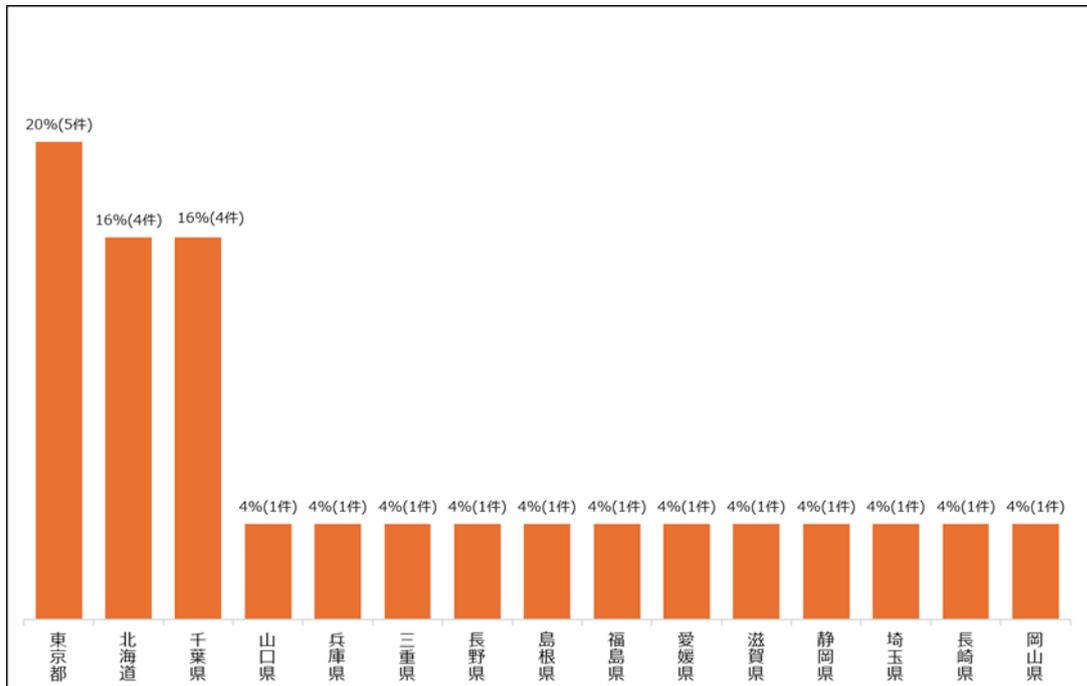
Q1 あなたの年齢をお答えください



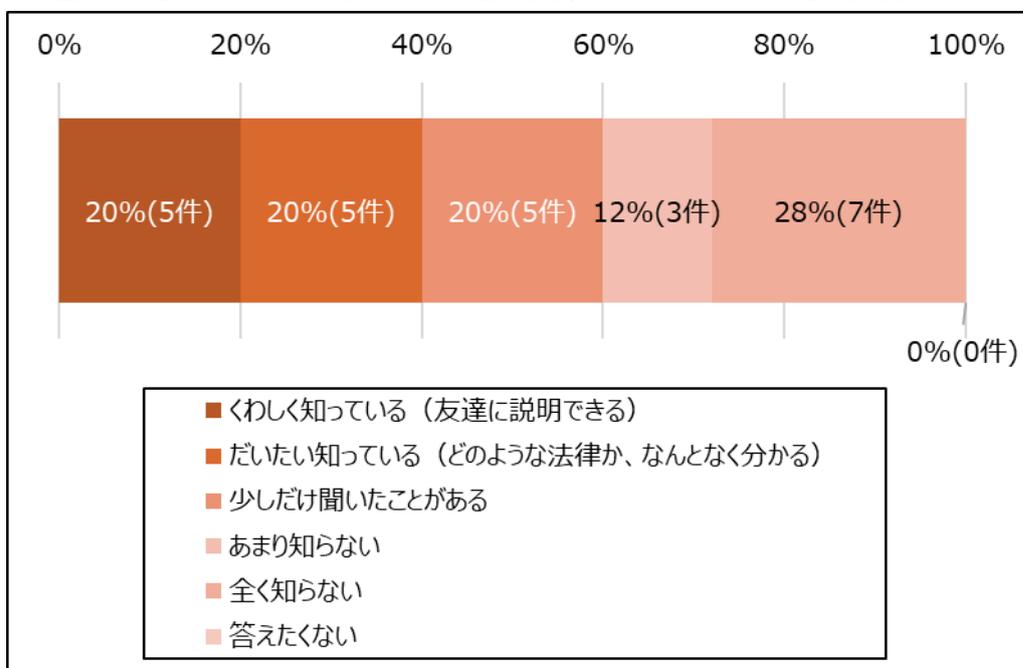
Q2 あなたの性別をお答えください



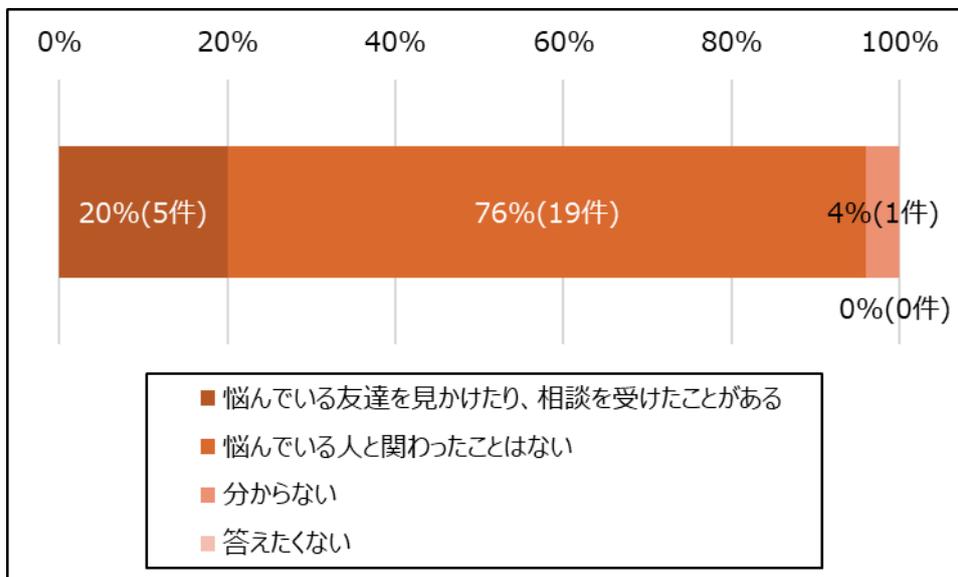
Q3 お住いの都道府県を教えてください。



Q4 子どもたちが学校や塾などで性被害にあうことがないよう、国が新しい法律「子ども性暴力防止法」(ニュースでは「日本版 DBS」と呼ばれることもあります)を作っていることを知っていますか？



Q5 みなさんの周りで、大人から性に関して嫌なことを言われたり、されたりして悩んでいる友達がいる、相談を受けたりしたことはありますか？



Q6 みなさんが性的に嫌な思いをすることなく、安心して過ごせるよう、大人や学校にどんなことをしてほしいですか？

性暴力を許さないという気持ちを持つ
 スクールカウンセラーなど相談しやすいしくみづくり
 学校でどのような対策をしているのか定期的に生徒に対して教えてほしい
 性的な内容に関係なく、子どもの意見や話を否定しないで聞いてほしい。秘密は守ってほしい。
 大人が OK と思っていても子どもではそうではないこともあるので気を付けてほしい
 啓発相談室をもっとわかりやすくする
 教育に関わる大人には事件等が起きない様に指導を徹底させ又、子供達の間で問題が起こる事を防ぐ
 為にも、性教育は徹底させるべきだと思う。
 性被害を受けた人がどんなに苦しんでいるのか教えて、新たな性被害を生まないようにしてほしい
 周りの大人が少しでも怪しいと感じたら、被害者であろう人に声をかけて欲しい。小学生や中学生となる
 とどこからが性被害となるのか判断しづらいと考えるため。
 学校で気軽に相談できる相談室を作るもっと重要なものとして相談窓口のプリントを配る
 性犯罪を犯した人は子どもに直接関わるような職に就けないようにしてほしい
 今の時代の子供たちの考え方を知ってほしい。距離感を一定に保つこと、特別扱いをしないこと
 今の生活のままでいい。
 性被害防止に関する教育の実施
 子供と身近な人の性的嗜好を科学的に立証し、厳格な審判、審査をしてほしい。NPO だけでなく警察
 組織がネット上を巡回し、悪質な場合は捜査もしてほしい。抑止力の面でも迅速な対応の面でも一
 切手を抜かずに捜査してほしい。

大人は自分の存在の大きさを悪用しない気持ちを持ってほしい。学校は先生の実態をきちんと把握してほしい。

Q7 学校や塾、習い事などで起こった、大人からの性的な嫌がらせや暴力について周りの人に相談したいとき、どうしたら相談しやすくなると思いますか？

必要最低限の個人情報だけで相談できるインターネットなどで気軽に相談できる無料
幼少期からの性教育の普及、普段からの大人と子供のさまざまな形でのコミュニティを取りやすくする
普段から話がしやすい。定期的なアンケートやカウンセリング。
学校とちがい、塾などの習い事は被害を言いにくい。友達同士で気軽に話せるとたずかる
今よりも相談体制を拡充させるとともに、「声を上げる事は恥ずかしい事ではない」と学校等でしっかりと教えるべきだと思う。
親がさりげなく聞いてあげる
おかしい事だと思えるように（被害者は悪くない）、社会の雰囲気を作る。その為に、国家は法整備（DBS など）をはじめとする姿勢を見せることが大切だと思います。
なんでも相談機関と言ってしまうと、範囲が広がりすぎてしまい、実現が難しくなるだろうが、精神的なことや日常の政策や規制に関する疑問など様々なことを相談できる窓口を設置するべきだと思う。
メールや電話だけでなくウェブサイトや学校などでも相談できるようにする
被害に遭ったことを話しても身の危険を心配しないでいいと思ってもらえるように周知
性被害が起こらないことが当たり前ですが起こってしまった場合周りが異変に気づいてもらえるのが最善か
と思います。
相談する前から良好な関係を築いておく。
日頃から、家族と話しておく環境が大切だと思う。
性被害の経験を持ち、かつそのことを乗り越えてきたできるだけ近い年代の相談員を配置すること
(いわゆる)いじめアンケートだけでなく性被害の有無を調べるアンケートも定期的実施し、回収したアンケートは漏洩、隠蔽がないよう厳重な管理の下、教育委員会や警察組織に渡るようにしてほしい。
やった大人に分からないように、周りの人に相談する方法を作る。親がきちんと訴えられる場所を作る。
学校の先生に対応してもらうのではなく、教育委員会、第三者委員会などを開いて議論してほしい。学校の先生は最近のニュースを見ていると、必ず頼りになるものではないと思うから。

Q8 学校や塾、習い事などで相談をする場合、相談を受ける大人にはどんなことを聞いて欲しいですか？どんな聞き方だと話しやすいですか？

- ・ これから何をすべきか優しく、無理に話さなくてもいい雰囲気落ちついて話を聞いてくれる
- ・ 必ずしも相談側のことを全肯定する必要はないがこちらは全て受け止めますよ、という雰囲気を出しながら聞いてもらえると話しやすいと思います

- ・ 反論せずに受け止めてほしい
- ・ 無理に全てを聞き出そうとせず、被害者一人一人の心に寄り添う事を心掛け、優しく聞いてほしい。
- ・ 自分のことを否定せず受け止めてほしい、それからこちらが話す気になるまで少し待ってから話したい
- ・ 否定をしないこと、同じ性別であること。
- ・ 問題解決に繋がることを積極的に聞いて欲しい。
- ・ 家族以外に相談しようと考えたことがなかったです。相談する大人には、日頃から話しやすい人がいいです。
- ・ まず自分の感想や思っていることだけでも全てを聞いてほしい。
- ・ 事実を話したい。話せなくなってしまったら、質問形式（選択）にすると良いと思う。
- ・ 問い詰めない言い方で相談を聞いてほしい。何があったのかを最優先できくのではなく当事者の方の気持ちを最優先に聞いてほしい。